

令和8年度
大学院連合教職実践研究科
学校臨床力高度化系
入学者選抜2月選抜
学力検査問題

専門科目：記述式総合問題

注意事項

1. 問題冊子は監督者の指示があるまで開かないこと。
2. 問題冊子の科目名と受験票に記載してある科目名が、一致しているか確認すること。
3. 問題冊子は表紙を除いて1ページ、下書用紙は1ページ、解答用紙は4ページとなっている。
4. 問題冊子等の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
5. 試験開始後、全ての解答用紙に必ず受験番号を記入すること。
6. 試験終了後、解答用紙は提出し、問題冊子は持ち帰ること。
7. その他については、監督者の指示に従うこと。

科目名	専門科目
-----	------

令和 8 年 度
 大学院連合教職実践研究科
 学校臨床力高度化系
 入学者選抜 2 月選抜
 試験 問 題

(1 枚の 1)

問 1. 次の用語群から五つを選んで、それぞれについて 100 字以内で説明しなさい。

カリキュラムマネジメント	主体的・対話的で深い学び	検定教科書
ポートフォリオ評価法	職場体験	育成すべき資質・ 能力の三つの柱
生涯学習	学び続ける教師	

問 2.

「こども施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法」（こども家庭庁 HP より）としてこども基本法が成立し、令和 5 年 4 月に施行された。こども基本法に示されたこども施策の 6 つの基本理念のなかに、「年齢や発達の程度により、自分に直接関係することに意見を言えたり、社会のさまざまな活動に参加できること」（こども家庭庁 HP より）というものがある。この理念に沿って、「こども若者★いけんぶらす」という子どもと若者に様々な意見を聞く取組がこども家庭庁によって行われている。現在行われている学習指導要領改訂に関する中央教育審議会の議論でも、この取組によって集められた意見が参照されている。学校においても、子どもが意見を述べ、その意見をもとにして学校をよりよくしていくことが求められる。

(1)

授業や学級経営において、児童・生徒の意見を反映させることができる教師の取組とは、どのようなものか。校種（小、中、高）を指定しその校種の最高学年を想定した上で、声の大きな児童・生徒たちの意見だけが反映されるような事態に陥らないための留意点も含めて、その具体的過程を 400 字以内で述べなさい。

(2)

学校の教育活動全般において、児童・生徒の意見を反映させることができる教師の取組とは、どのようなものか。校種（小、中、高）を指定した上で、声の大きな児童・生徒たちの意見だけが反映されるような事態に陥らないための留意点も含めて、その具体的過程を 400 字以内で述べなさい。